

令和5（2023）年度 生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅰ 実施報告②

実施日：令和5年5月17日（水）

本研修は新たに生涯学習・社会教育関係職員として配属された方々が、業務を遂行する上で必要となる社会教育行政に関する基礎的知識や学習プログラムの企画・立案の技術等を学びます。第2回はオンラインによる研修を行い、31名の生涯学習・社会教育関係に携わる様々な立場の方が受講されました。

○ 講話「新たな時代の生涯学習・社会教育について考える～「流行」を見据えつつ「不易」を見抜く眼力を養う～」

講師：宇都宮大学地域創生推進機構 教授 佐々木 英和 氏

佐々木先生の御講話は、受講者にとって学ぶことが多く、新たな知見を得ることができ、有意義な時間となりました。少子高齢化、情報化、国際化など昨今の社会の加速度的な変化により、「学び直し」を続ける必要がある等の現代的課題についてお話しいただきました。

また、『教育』という言葉を手段と目的という視点から考えると『育てるという目的』の実行・実現のために『教え』ている」など、受講者が知っている言葉を再定義することで、新たな学びを得ました。

さらに、コロナ禍によりオンラインによる研修や講座が数多く開催されるようになりましたが、その際、主催者側の一方的なものにならないよう、受講者の意見や考えを共有することで、受講者の参加意識を高め、考えをまとめていくことの大切さについてもお話いただきました。



○ 研究協議「講話から学んだ事を生かすためには」

参加者がオンライン上でグループに分かれ協議を行いました。自己紹介を行った後、現在担当している業務や講話から得たことについて意見の交換を行いました。受講者は他の市町の生涯学習・社会教育に関する事業の推進状況を知り、講話で得た学びと共に、今後どのように業務に生かしていくかについて考えることができました。

☆受講者の声（アンケートから）

- ・ 育てることが目的であることを意識して、講座の企画、運営をしていきたいと思います。
- ・ 教育は「引き出すこと」という新たな知見を得られて、大変有意義でした。この視点を忘れずに、今後の業務に生かしていきたいと思います。
- ・ 研究協議では、実際に困っていることや新しい考え方などについて話し合うことができました。なかなか、このような話をする時間がないので、有意義な時間となりました。
- ・ 講話もグループワークも大変勉強になりました。オンラインでの講座の必要性も理解出来たので、苦手意識を克服して講座の企画をしていきたいと思いました。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp